

加盟大学航空部長  
指 導 員 殿  
各大学航空部主将

財団法人 日本学生航空連盟  
専務理事 鈴木 明治  
教育訓練部長 中村 暢宏

## 夏季合宿実施の注意喚起及び航空局安全通達

梅雨明けが遅れ、不順な天気が続いています。

昨年から滑空界にとって悲しい事故が続いています。しかし、この流れは非常に残念なことに今年になっても続いている状況です。

今年になって国土交通省航空・鉄道事故調査委員会が調査官を派遣して事故調査を実施した事故は、3月のスーパーディモナの着陸時（板倉滑空場）、5月のAMT-200型の離陸時（但馬飛行場）及びLs-3の着陸時（板倉滑空場）、6月のSZD-51ジュニアの場外着陸時（長野）、7月のAMT-200の滑走路逸脱（三保場外離着陸場）と計5件発生してします。

夏季合宿に際して、加盟各校昨年からの安全対策に沿った飛行を実施のことと思いますが、現状を再度認識して、慎重な運航をお願いいたします。

また、7月28日に国土交通省航空・鉄道事故調査委員会の航空事故調査報告書（AA2006-3-2）及び航空重大インシデント調査報告書（AI206-4-2）の公表に伴い、航空局運航課より安全通達が発行されました。ATCトランスポンダーの常時発信等、直接滑空機に該当しない部分もありますが、航空機間の異常接近、空中衝突防止の趣旨に関しては滑空機も真摯に受け止めて注意が必要です。

### 夏合宿実施の注意喚起

- （1）夏合宿は睡眠や日中の休息を十分取って、暑さによる疲労と熱中症、熱射病に気を付けて余裕を持った計画で合宿を実施して下さい。
- （2）気象情報を入手して、台風情報や日中の雷雲情報には注意し、無理をせず早めの対応をお願いします。
- （3）基本に立ち返り、訓練開始前の点検事項の実施・確認の徹底をお願いします。

### 航空局安全通達

- （1）滑空機の事故防止について（国空航第351号 平成18年7月28日付）
  - 1．操縦特性の理解  
動力滑空機の操縦操作に従事しない期間が長い場合の慣熟及び特性の確認、理解を求めています。通常使用している滑空機の飛行特性や新型式の滑空機に搭乗する場合の教育をしっかり行うようにして下さい。
  - 2．追い風での運用  
昨年の久住事故以来、各滑空場に風速計を常備し、滑空スポーツ訓練実施規則に背風2m/sの基準を設定しました。風速計を活用して運航をお願いします。
- （2）有視界飛行方式により飛行する航空機の異常接近防止対策について（国空航第352号 平成18年7月28日付）
  - 1．ATCトランスポンダーの常時発信  
上級滑空機に搭載していない機体が多いですが、滑空機の事故で次に発生するのは空中衝突ではないとも言われています。フライトサービスの活用、航空機相互間のコミュニケーションを密にし、ピストで上空の機体を把握して異常接近や空中衝突の発生がないように気をつけて運航をお願いします。
  - 2．出発・進入経路等を通過する場合の無線聴取  
夏休み期間中は、各滑空場年間で一番活動の活発な時です。2団体以上で運航している滑空場ではピスト間のコミュニケーションを大切にして、離着陸機のコントロールに余裕のある運航をお願いします。